（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	GOODSMILE高知			
○保護者評価実施期間	令和8年　1月　27日	～	令和8年　2月　28日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	23	（回答者数）	10
○従業者評価実施期間	令和8年　1月　27日	～	令和8年　2月　28日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	6	（回答者数）	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年　3月　5日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	環境・体制整備	パーテーションで仕切りを作り、利用児童が安心して過ごせる環境ができている 部屋が別れている為、場所の切り替えがしやすい 工夫して職員が各スペースに配置している マンツー対応ができる人数を確保している	・防災チェックの際に、設備の確認を行う。不備があった場合には修理していく。
2	業務改善	朝礼、終礼時に話し合いができている。 個人面談がある かなり研修を受けている 目に入る場所に研修資料を提示している 内部研修なども行われている。	・ICT（クラウド、文字起こしソフトなど）の導入を行う。 ・環境に併せて、朝礼昼礼終礼のシステム化を行い、効率的に行っていく。
3	適切な支援の提供	朝礼で話している 中礼があることで全職員が支援について話すことができている 朝礼、昼礼の時間を確保している。 終礼で話している 終礼で休みの職員も見れるよう、文字で残している	・環境に併せて、朝礼昼礼終礼のシステム化を行い、効率的に行っていく。
4	保護者への説明等について、デイや家庭での様子、その他研修を通して情報共有ができている。	・支援内容を面談を通して説明ができている。 ・作業所見学など就労に向けた情報共有をしている。 ・連絡帳や電話連絡で様子の共有を行なっている。	・今後も現在の取り組みを継続して行なっていく。
5	満足度について、子供達が通所を楽しみにしている。	・児童の興味関心やニーズに合わせた外出活動や行事の設定をしている。	・今後も現在の取り組みを継続して行なっていく。 ・児童やご家庭への聞き取りを行っていく。
6	適切な支援の提供について、ニーズや課題が客観的に評価され個別支援計画が作成されている。	・日頃から児童との関りや、保護者との連絡帳や電話連絡を通じて情報共有を行ない、その都度必要な支援を計画している。	・今後も現在の取り組みを継続して行なっていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	階段の為、バリアフリー化は難しい 屋外と屋内共に階段での移動が必要。	・1人での歩行に危険が伴う際には、安全に移動できるようサポートしていく。

2	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	アセスメント用のツールは決まった形はなく、使用できていない。	・契約時には、特性評価シートや生活スキル評価シートを用い、情報収集している。 ・スキルアップ委員会の立ち上げと計画的に実施することで、フォーマルなアセスメントツールの作成を行っていく。
3	環境・体制整備の面で、職員の配置数は適切であるか	特になし	・専門職（リハ、保育士）を配置し、支援面の拡充を行なっている。